

地場産業および伝統的工芸品についてのアンケート結果

県では、「近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する条例」を平成28年3月に施行し、地場産業や伝統的工芸品を支援する様々な事業を行っています。

本県の地場産業および伝統的工芸品について、県民の皆さんに、現状をどの程度知っていただいているのか、浸透しているのか把握することを目的としてアンケート調査を実施しました。

★調査時期：令和元年6月

★対象者：県政モニター399人

★回答数：347人（回収率87.0%）

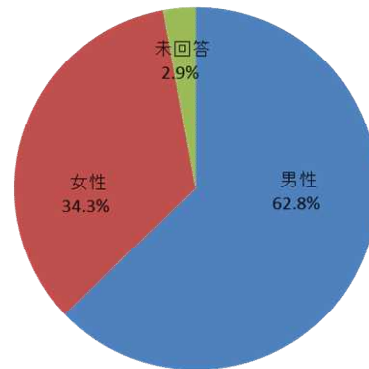
★担当課：モノづくり振興課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

【属性】

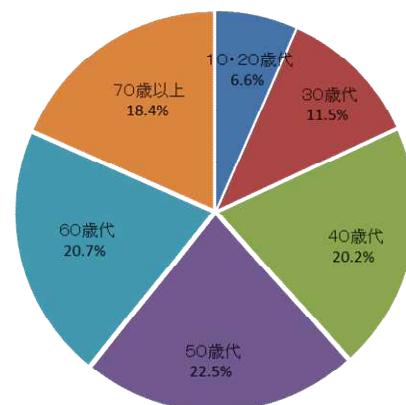
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	218	62.8
女性	119	34.3
未回答	10	2.9
合計	347	100.0



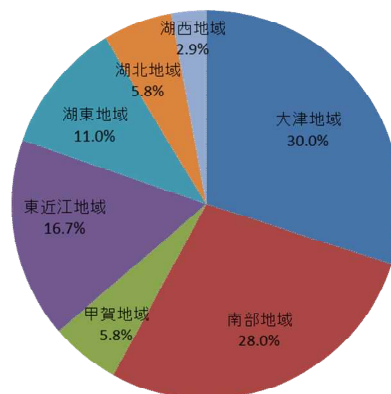
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	23	6.6
30歳代	40	11.5
40歳代	70	20.2
50歳代	78	22.5
60歳代	72	20.7
70歳以上	64	18.4
合計	347	100.0



◆地域

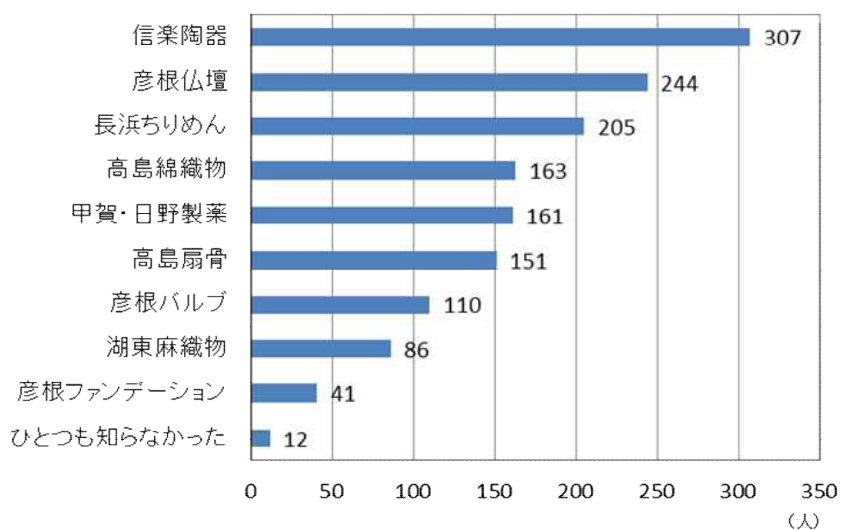
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	104	30.0
南部地域	97	28.0
甲賀地域	20	5.8
東近江地域	58	16.7
湖東地域	38	11.0
湖北地域	20	5.8
湖西地域	10	2.9
合計	347	100.0



☆地場産業について

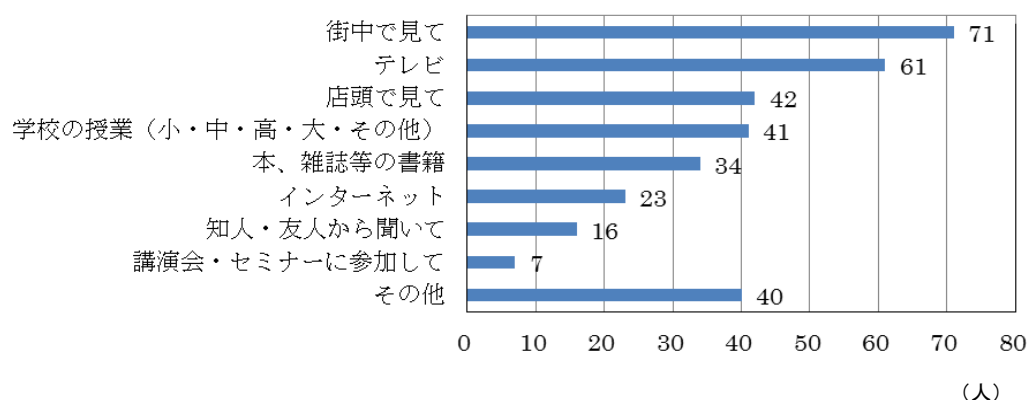
問1 滋賀県には現在、下記9つの地場産業があります。あなたが地場産業であることを知っていたものを選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=347)

項目	人数(人)	割合(%)
信楽陶器	307	88.5
彦根仏壇	244	70.3
長浜ちりめん	205	59.1
高島綿織物	163	47.0
甲賀・日野製菓	161	46.4
高島扇骨	151	43.5
彦根バルブ	110	31.7
湖東麻織物	86	24.8
彦根ファンデーション	41	11.8
ひとつも知らなかった	12	3.5



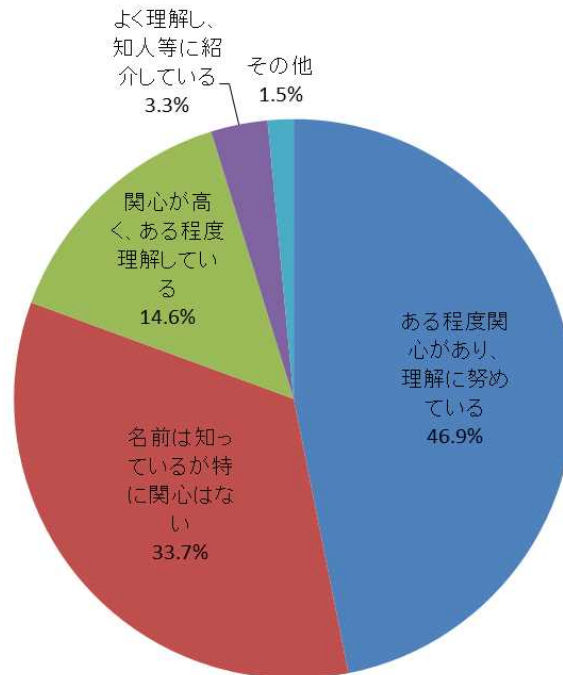
問2 【問1】で「ひとつも知らなかった」以外を選択された方にお尋ねします。地場産業を知ったきっかけは何ですか。(回答チェックは1つだけ。n=335)

項目	人数(人)	割合(%)
街中で見て	71	21.2
テレビ	61	18.2
店頭で見て	42	12.5
学校の授業(小・中・高・大・その他)	41	12.2
本、雑誌等の書籍	34	10.1
インターネット	23	6.9
知人・友人から聞いて	16	4.8
講演会・セミナーに参加して	7	2.1
その他	40	11.9
合計	335	100.0



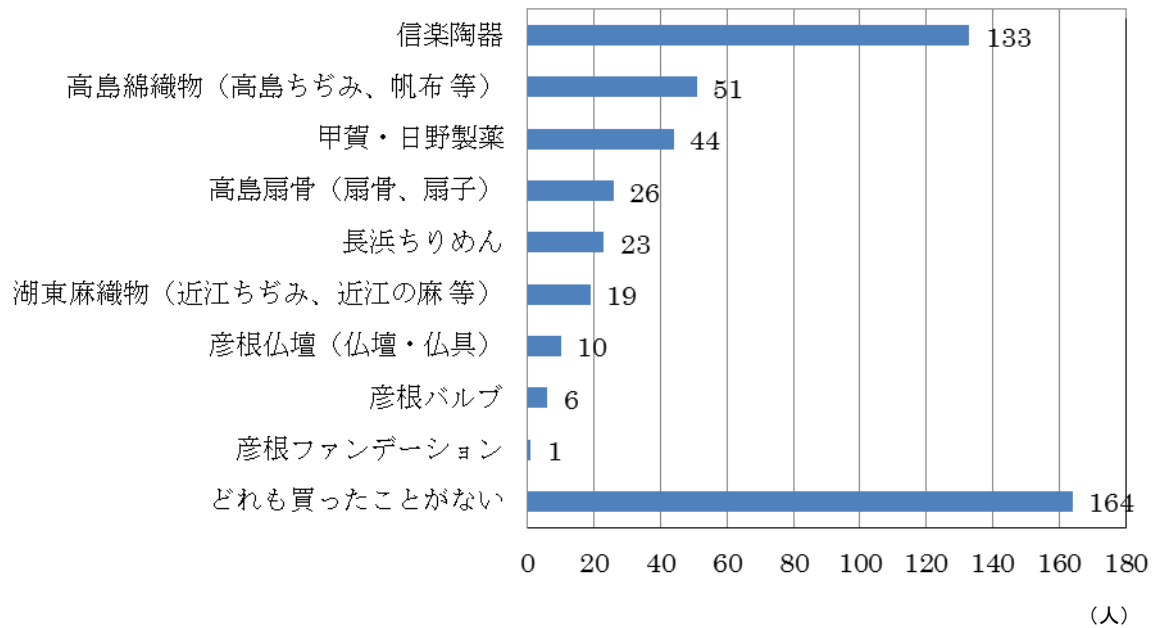
問3 【問1】で「ひとつも知らなかった」以外を選択された方にお尋ねします。地場産業に対する関心、理解はどの程度ですか。(回答チェックは1つだけ。n=335)

項目	人数(人)	割合(%)
ある程度関心があり、理解に努めている	157	46.9
名前は知っているが特に関心はない	113	33.7
関心が高く、ある程度理解している	49	14.6
よく理解し、知人等に紹介している	11	3.3
その他	5	1.5
合計	335	100.0



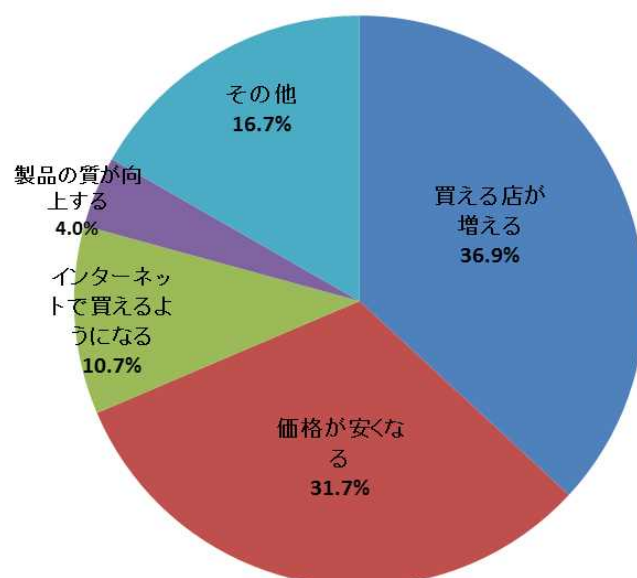
問4 この3年の間（H28.6～R1.6）に地場産業の商品を買いましたか。（「どれも買ったことがない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=347）

項目	人数（人）	割合（%）
信楽陶器	133	38.3
高島綿織物（高島ちぢみ、帆布等）	51	14.7
甲賀・日野製菓	44	12.7
高島扇骨（扇骨、扇子）	26	7.5
長浜ちりめん	23	6.6
湖東麻織物（近江ちぢみ、近江の麻等）	19	5.5
彦根仏壇（仏壇・仏具）	10	2.9
彦根バルブ	6	1.7
彦根ファンデーション	1	0.3
どれも買ったことがない	164	47.3



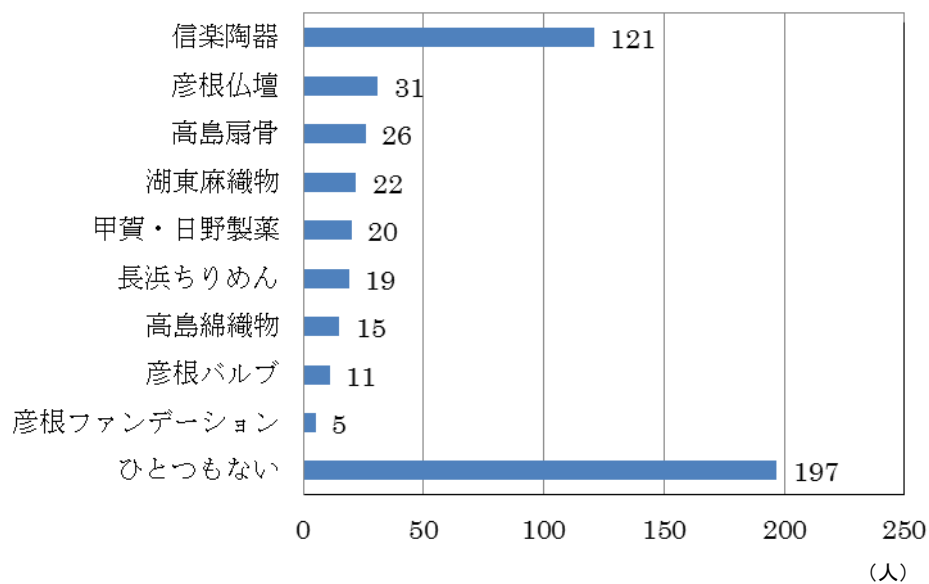
問5 地場産業の商品がどのようになれば買おうと思いますか。一番あてはまるものをお答えください。(回答チェックは1つだけ。n=347)

項目	人数 (人)	割合 (%)
買える店が増える	128	36.9
価格が安くなる	110	31.7
インターネットで買えるようになる	37	10.7
製品の質が向上する	14	4.0
その他	58	16.7
合計	347	100.0



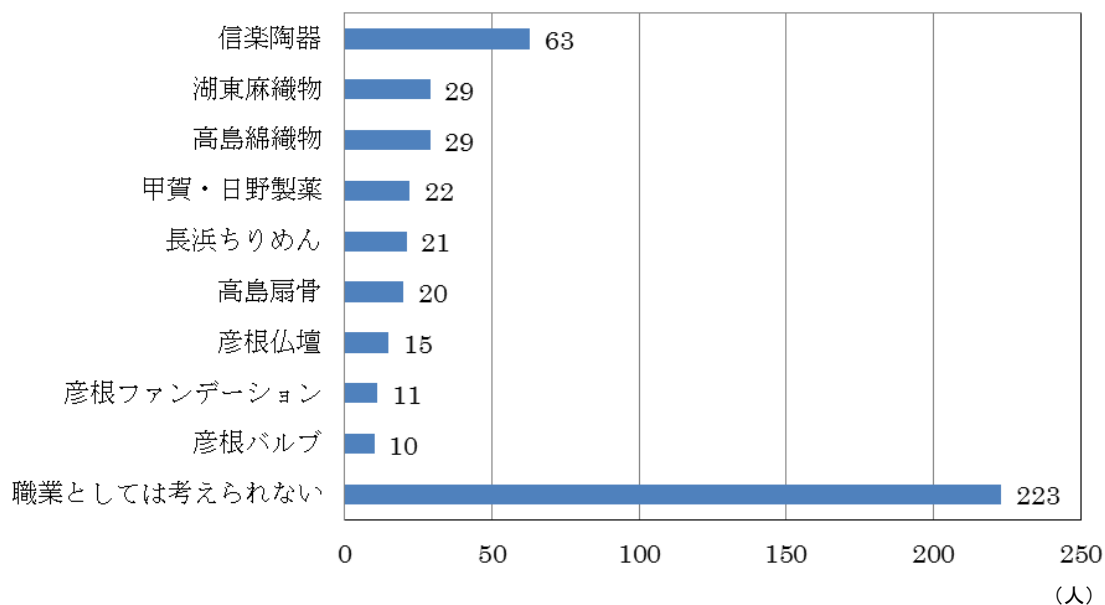
問6 今までに、地場産業の体験会や見学会、催事や展示会、講演会やセミナーに参加されたことがありますか。「ひとつもない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=347)

項 目	人数 (人)	割合 (%)
信楽陶器	121	34.9
彦根仏壇	31	8.9
高島扇骨	26	7.5
湖東麻織物	22	6.3
甲賀・日野製菓	20	5.8
長浜ちりめん	19	5.5
高島綿織物	15	4.3
彦根バルブ	11	3.2
彦根ファンデーション	5	1.4
ひとつもない	197	56.8



問7 地場産業の中で、職業として携わってみたいと思うものがありますか。（「職業としては考えられない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=347）

項目	人数（人）	割合（%）
信楽陶器	63	18.2
湖東麻織物	29	8.4
高島綿織物	29	8.4
甲賀・日野製菓	22	6.3
長浜ちりめん	21	6.1
高島扇骨	20	5.8
彦根仏壇	15	4.3
彦根ファンデーション	11	3.2
彦根バルブ	10	2.9
職業としては考えられない	223	64.3



問8 問7の理由をお聞かせください。(職業として携わってみたい理由、もしくは携わりたくない理由)。(抜粋)

○職業として携わってみたい理由

- ・織物には特に興味があるので、携わってみたいと思います。信楽陶器は小学生時代に体験学習に行ったこともあり、全国的にも有名なので興味深い職業です。
- ・地元の産品を全国にアピールして、地域経済を盛り上げたい。
- ・高年齢化している後継者不足を解消したい。
- ・地場産業の知識を再認識した。これからも滋賀が誇る産業を他府県にPRしていききたい。
- ・繊維関係や扇骨の産業は、これまで半製品での出荷が多いが(下請的)、商品としての販売ルートに乗せることが肝要。その為のデザイン力・営業面での努力が必要です。
- ・大企業の下請けでなく、独自の鋳物製品を開発してみたい。
- ・今後、日本の産業は国際社会の中で下火になる可能性が高いが、固有文化を元に再起を図る想いを含め、布や器と言った他文化でも受け入れやすい産業に携わり、より良くしていきたい。
- ・地場産業に興味があり、もっと良さを製品に生かしたり、広報したりできるのでは?と思うから。
- ・地元から発信できる下地が出来れば、沢山の地域の方の声を組み込んだ商品が出来るかなと思います。

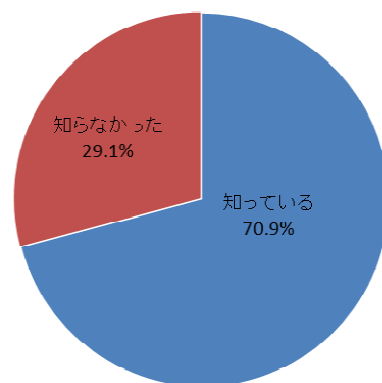
○職業として携わりたくない理由

- ・自分が携わっている(職人になる)イメージが沸かないだけで、なりたくないわけではない。地場産業に対する自分の理解度が低いから。
- ・興味をもてないから。
- ・不安定な仕事だから。
- ・手先が器用な方ではないのでうまくいかないと思うからです。
- ・地場産業には続いて行ってほしいですが、既に職があるので、わざわざ転職しようとは考えていません。
- ・大変そうだから。
- ・ほかにしたい職業があるため。
- ・技術や練度など、修行が必要であり、すぐにできるものではないと思うから。営業等の販売面での関与は幅広い人が携われると思います。
- ・衰退していくか、発展していくか全くわからない産業。どちらかに分かれると思うから。幼い頃から慣れ親しんで、親から子に伝えるような産業だとも思います。

☆伝統的工芸品について

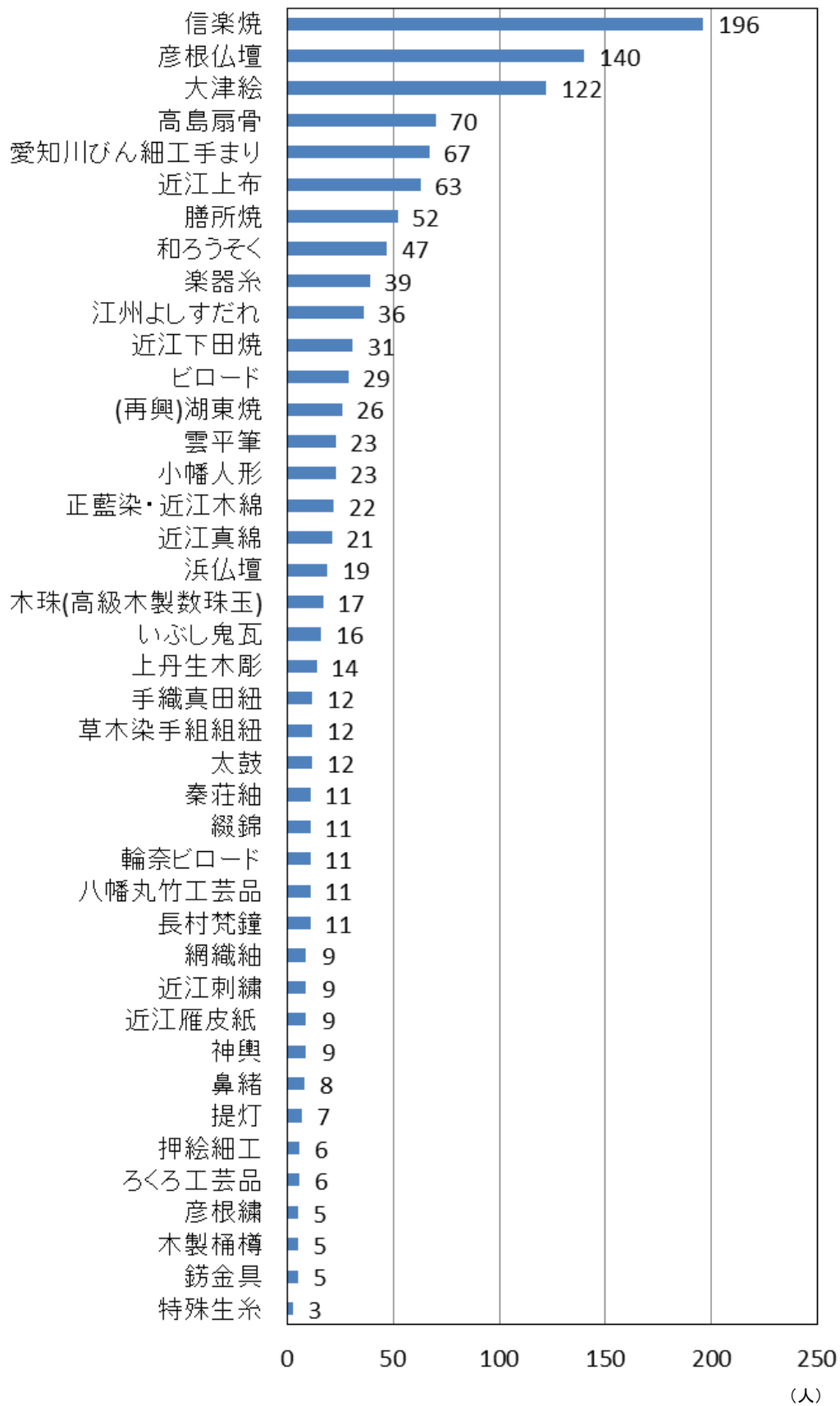
問9 滋賀県には現在41品目の伝統的工芸品がありますが、知っていましたか。(回答チェックは1つだけ。n=347)

項目	人数(人)	割合(%)
知っている	246	70.9
知らなかった	101	29.1
合計	347	100.0



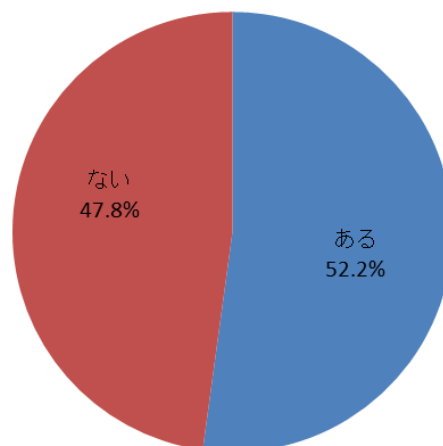
「知っている」と回答いただいた方は、下記の
知っているものの番号を記載して下さい。(複数回答 n=246)

項目	人数(人)	割合(%)	項目	人数(人)	割合(%)
信楽焼	196	79.7	手織真田紐	12	4.9
彦根仏壇	140	56.9	草木染手組組紐 <small>(くさきぞめてぐみくみひも)</small>	12	4.9
大津絵	122	49.6	太鼓	12	4.9
高島扇骨	70	28.5	秦荘紬 <small>(はたしょうつむぎ)</small>	11	4.5
愛知川びん細工手まり	67	27.2	綴錦 <small>(つづれにしき)</small>	11	4.5
近江上布	63	25.6	輪奈ビロード <small>(わなびろーど)</small>	11	4.5
膳所焼	52	21.1	八幡丸竹工芸品	11	4.5
和ろうそく	47	19.1	長村梵鐘 <small>(おさむらぼんしょう)</small>	11	4.5
楽器系	39	15.9	網織紬 <small>(あみおりつむぎ)</small>	9	3.7
江州よしすだれ	36	14.6	近江刺繍	9	3.7
近江下田焼	31	12.6	近江雁皮紙	9	3.7
ビロード	29	11.8	神輿	9	3.7
(再興)湖東焼	26	10.6	鼻緒	8	3.3
雲平筆 <small>(うんぺいふで)</small>	23	9.3	提灯	7	2.8
小幡人形	23	9.3	押絵細工	6	2.4
正藍染 <small>(しょうあいぞめ)</small> ・近江木綿	22	8.9	ろくろ工芸品	6	2.4
近江真綿	21	8.5	彦根繻 <small>(ひこねぬい)</small>	5	2.0
浜仏壇	19	7.7	木製桶樽 <small>(もくせいおけたる)</small>	5	2.0
木珠(高級木製数珠玉)	17	6.9	銚金具 <small>(かざりかなぐ)</small>	5	2.0
いぶし鬼瓦	16	6.5	特殊生糸	3	1.2
上丹生木彫	14	5.7			



問10 今までに県内の伝統的工芸品を購入したことがありますか（回答チェックは1つだけ。n=347）

項目	人数（人）	割合（%）
ある	181	52.2
ない	166	47.8
合計	347	100.0



問11 問10で「ある」とお答えになった方にお尋ねします。

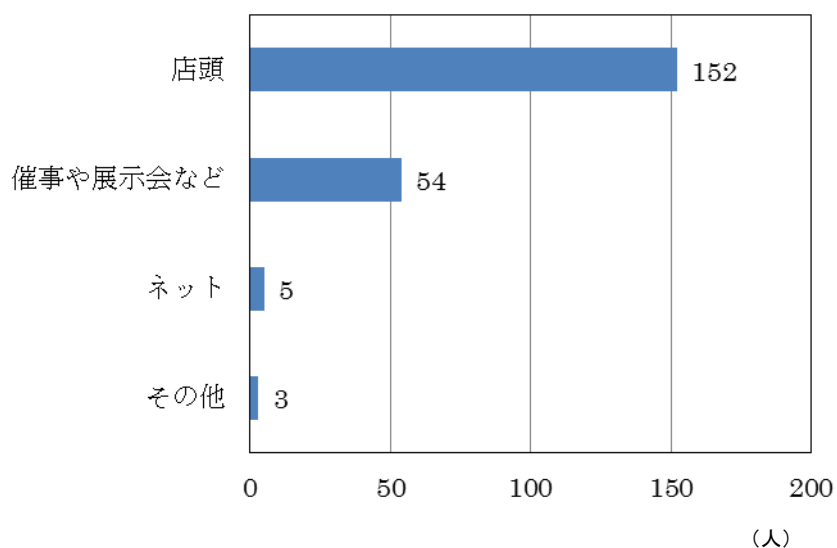
どの伝統的工芸品を購入されましたか。（複数回答。 n=181）

項目	人数（人）	割合（%）	項目	人数（人）	割合（%）
信楽焼	155	85.6	小幡人形	3	1.7
大津絵	37	20.4	網織紬（あみおりつむぎ）	4	2.2
高島扇骨	23	12.7	綴錦（つづれにしき）	3	1.7
彦根仏壇	18	9.9	輪奈ビロード（わなびろーど）	2	1.1
和ろうそく	15	8.3	（再興）湖東焼	2	1.1
近江上布	13	7.2	木製桶樽（もくせいおけたる）	2	1.1
江州よしすだれ	11	6.1	八幡丸竹工芸品	2	1.1
雲平筆（うんべいふで）	10	5.5	神輿	2	1.1
愛知川びん細工手まり	9	5.0	秦荘紬（はたしょうつむぎ）	1	0.6
膳所焼	8	4.4	手織真田紐	0	0.0
近江下田焼	8	4.4	近江刺繍	1	0.6
正藍染（しょうあいぞめ）・近江木綿	5	2.8	鼻緒	1	0.6
草木染手組組紐（くさきぞめてぐみくみひも）	5	2.8	近江真綿	1	0.6
ビロード	4	2.2	いぶし鬼瓦	1	0.6
近江雁皮紙	4	2.2	彦根繻（ひこねぬい）	0	0.0
楽器糸	3	1.7	特殊生糸	0	0.0
押絵細工	3	1.7	ろくろ工芸品	0	0.0
提灯	4	2.2	鋳金具（かざりかなぐ）	0	0.0
上丹生木彫	3	1.7	太鼓	0	0.0
木珠（高級木製数珠玉）	3	1.7	長村梵鐘（おさむらぼんしょう）	0	0.0
浜仏壇	3	1.7			



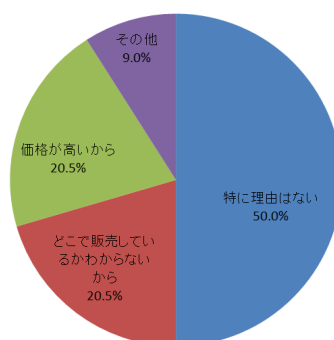
問12 問10で「ある」とお答えになった方にお尋ねします。どこで購入されましたか。(回答チェックはいくつでも。 n=181)

項目	人数(人)	割合(%)
店頭	152	84.0
催事や展示会など	54	29.8
ネット	5	2.8
その他	3	1.7



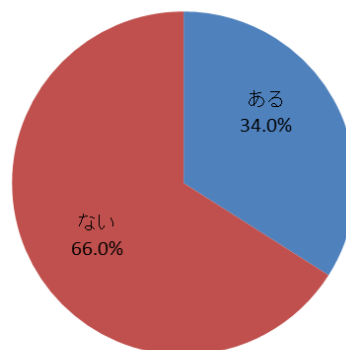
問13 問10で「ない」とお答えになった方にお尋ねします。購入したことがない理由で一番あてはまるものを教えてください。(回答チェックは1つだけ。n=166)

項目	人数(人)	割合(%)
特に理由はない	83	50.0
どこで販売しているかわからないから	34	20.5
価格が高いから	34	20.5
その他	15	9.0
合計	166	100.0



問14 今までに県内で開催された工芸品展を見に行ったことはありますか。(回答チェックは1つだけ。n=347)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	118	34.0
ない	229	66.0
合計	347	100.0



問15 その他、地場産業および伝統的工芸品に関して御意見等がございましたらお聞かせください。(抜粋)

- いろいろな工芸品がもっと身近に感じられるよう、展示会や品評会を積極的に行われ、またその情報も多部門で公開していただきたいです。
- 日本で有数の産品に育て上げることが、広く知れ渡る第一歩。全国版は信楽焼くらいではないか？他県の知人が知っていたのは、信楽焼と大津絵程度。外からの刺激を受けることが、地場産品の発展につながるのではないだろうか。
- まずは県民にもっとアピールして現代社会につかえるものに改良していければいいのでは。
- 他都道府県の方が欲しがることがない。地元でも盛り上がらないのに、他でも盛り上がらないのではないのでしょうか。
- 県内で工芸品展が開催されていたことを知らなかった。関係者の方々が各地に赴くのはたいへんだと思うので、それこそ展示の店番は技術者でなくてもよく、Skypeでお客さんから質問があったら聞けるようにするとかもありでは？
- 特産品を従来のジャンルと違う領域の商品の開発。大学とのコラボなどきっかけが欲しい。
- スタンプラリーなどを活用し、道の駅をめぐってもらうのも効果的かと思います。
- 県は伝統工芸品を守ろうと、いろいろ補助をされておられますが、本当に必要な補助が違う形であると思います。
- ネットで発信も大事ですが、フェイス トゥー フェイスで産品と触れ合う機会を増やして欲しい。県民はそれを買ったら補助とか、本当に良いものだったら県民が利用、使用するだけでもかなりの発展があると思います。
- 写真付きでもっとわかりやすい資料が欲しい。
- 地場産業をもっと全国にアピールすべき。

○伝統工芸をアーカイブとして残すこと、後継できる（したい）方がいるのであれば、それを護ることは県としてやってほしいです。

○素材やデザインを変えてないところが魅力だと思う。地場産業での安易な商品開発やブランディングは避けるべきだと考える。

○伝統工芸品の催事や展示などが身近であるといいなと思う。知らないもの多くて、リストをみて驚きました。

○地場産業および伝統的工芸品は、これから大事に育成継続していくべきだと思う。

○多様化している現在地場産業の未来がどのような形・姿に変ぼうするのか心配しています。地場産業の育成と守る為に行政の支援が欠かせないのではと思います。

○地場産業、伝統工芸品に携わっている方々に、敬意を表しますが、自ら購入したり、利用したりする気はない。

○あくまでも、個人的な理由ですが、日常生活において「伝統的工芸品」を購入する機会がなく、今まで購入することはありませんでした。日常生活に関わる商品開発、あるいは、告知方法について改善が必要ではないかと考えます。